

小児慢性特定疾病の状態の程度の検討 — 国際生活機能分類の項目との対応および関連要因の検証 —

研究分担者 盛一 享徳（国立成育医療研究センター 小児慢性特定疾病情報室 室長）
研究協力者 高木 麻衣（国立成育医療研究センター 小児慢性特定疾病情報室）

研究要旨

小慢患児のより良いアウトカム達成に向けて、以前の研究成果をふまえ、国際生活機能分類（ICF）の概念を利用し、小慢患児の生活機能に関連する要因を検証することを目的とした。

方法としては、「疾病の状態の程度」から「推察される要因」の検討を行ったうえでICF項目との紐づけを行い、関連する要因を検証した。

結果は、ICFの4領域のうち、「Body functions」および「Body structures」領域では、疾患による症状および合併症や、疾患に対する治療の副作用等が「推察される要因」として挙がり、それぞれ対応するICFコードとの紐づけが可能であった。「Activities and Participation」領域においても「疾病の状態の程度」から「推察される要因」を抽出することでICFコードとの紐づけが可能となり、「Particular interpersonal relationships(d730-799)」、「Education (d810-839)」、「Work and employment(d840-859)」、「Recreation and leisure (d920)」については、ほとんどの「状態の程度の記載」と紐づけられ、どの記載も全く当てはまらない疾患群は存在しなかった。疾患群を越えて「推察される要因」が挙がり、疾患が異なっても、患児の生活機能は共通の要因を背景として影響を受けうると考えられた。一方で、本研究で抽出された「推察される要因」は疾患横断的な内容も多く認めたものの、総じて患児の病態に起因する内容ではあり、患児を取り巻く人的・物理的・社会的な環境要因についての抽出は困難であった。今後は環境要因も含めた評価軸を検討することが、患児の社会参加の全体像の把握、引いては小慢対策の目的の一つである「慢性疾患児の特性を踏まえた健全育成」への寄与につながると考えられた。

A. 研究目的

小児慢性特定疾病（小慢）は、様々な病態の疾患を内包しているが、慢性疾患を抱える子どもたちのより良いアウトカム達成を支援するため、国際生活機能分類（International Classification of Functioning, Disability and Health: ICF）¹⁾の概念導入により、疾病に

寄らない現状把握を可能にできるのではと考え、われわれは小慢の枠組みの中へのICFの概念導入を進めてきた。小慢対策の入り口の幅を定めているのが、厚生労働省告示で定められる対象疾病ごとに示されている「疾病の状態の程度」であるが、われわれは以前、「疾病の状態の

程度」を ICF コードと紐づける検証を行った²⁾。その結果、基本的には全ての「疾病の状態の程度」の記述内容は ICF の項目と紐づけが可能であり、ICF の項目を介して、疾病の違いを超えて患児の生活機能の状態を評価できる示唆を得た。一方で、「疾病の状態の程度」における文言は、主に身体所見や治療状況を中心に記述されており、ICF に置ける重要なドメインの一つである「Activities and Participation」の領域について、直接的には紐づき難い面もあった。しかし、疾病を抱えて生きる子どもたちにおいても社会参加の機会には心身の醸成に重要であることから、「Activities and Participation」の領域の考察は必要不可欠である。

本研究は、特に当該領域への考察を深めることを目的とし、疾患名および「疾病の状態の程度」から「推察される要因」の検討を行ったうえで ICF 項目との紐づけを行い、関連する要因を検証した。

B. 研究方法

小児慢性特定疾病は、令和 3 年度は 16 疾患群、包括病名を含めると 845 の対象疾病で構成されている。それぞれの対象疾病について「疾病の状態の程度」が定められているが、「疾病の状態の程度」は、疾患群内で幾つかのパターンが存在することが多い。

本研究では、「疾病の状態の程度」に記述されている文言および疾患名を根拠とし、それらから「推察される要因」も検討したうえで、日本語版「国際生活機能分類—国際障害分類改訂版—」と照らし合わせ、現在の小慢が ICF におけるカテゴリ分けにおいて、どのように紐づけられるのかを検討した。なお「疾病の状態の程度」が同一の文言であっても、対象としている疾病が異なる場合には、その疾病特有の状況をふまえて ICF コードとの紐づけを行った。

ICF は Body functions (身体機能)、Body

structures (身体構造)、Activities and participation (活動と参加)、Environmental factors (環境因子) の 4 つの大きな構成要素 (ドメイン) で構成されている。各構成要素は、最大 3 階層まで分けられた項目の集合体となっているが、今回の検討では原則 Two-level classification までを利用し、小児慢性特定疾病の対象疾病に当てはまる大枠を明らかにすることとした。

C. 研究結果

「疾病の状態の程度」から「推察される要因」および紐づけ可能な ICF コードについて、疾患群ごとに検討し、表にまとめた (表 1~16)。

「Body functions」および「Body structures」の領域では、疾患による症状および合併症や、疾患に対する治療の副作用が「推察される要因」として挙がり、それぞれ対応する ICF コードとの紐づけが可能であった。

「Activities and Participation」の領域での紐づけは、「疾病の状態の程度」から抽出された「推察される要因」を介することで可能となった。特に「Particular interpersonal relationships(d730-799)」、「Education (d810-839)」、「Work and employment (d840-859)」、「Recreation and leisure (d920)」については、ほとんどの「状態の程度の記載」との紐づけが確認でき、どの記載も全く当てはまらない疾患群は存在しなかった。また、「状態の程度の記載」に紐づけられる ICF コードと「推察される要因」は 1 対 1 対応ではなく、複数の「推察される要因」が想定できる場合も多くみられた。

一方で、「Environmental factors」の領域の ICF コードとの紐づけは、ほとんどの場合困難であった。唯一、紐づけられた内容は、「状態の程度の記載」が身体障害・知的障害に該当する状態に言及しており、「Health services, systems and policies(e580)」すなわち「障害

者手帳」制度とのつながりが推察されるものであった。

D. 考察

「推察される要因」を比較すると、異なる疾患群間においても、似たような内容が挙がり、特定の ICF コードへの紐づけにつながることを確認できた。小慢疾患は一つ一つの病気の患者数が極めて少ない疾患も多数存在するが、疾患が異なっても、患児の生活機能に影響しうる要因には類似性が見出せると考えられた。また、これらの要因は必ずしも身体障害や知的障害の有無等によらず抽出されたため、小慢対策独自の視点での支援施策の必要性が、改めて確認できたと思われる。

一方で、本研究で抽出された「推察される要因」は疾患横断的な内容も多く認めたものの、総じて患児の健康状態に起因する内容であり、患児を取り巻く人的・物理的・社会的な環境面の要因を推察することは困難であった。しかし本来、社会参加は、その人の健康状態や生活機能など個人的な要因と、環境面の要因の相互作用で成されるものであるため、今後は患児の社会参加に影響しうる要因を評価し、効果的な支援策を検討するにあたり、現在の「疾病の状態の程度」からはほとんど読み取ることが難しい、患児を取り巻く環境面（人的、物理的要素を含む）の要因についても情報が得られることが必要であると思われ、その方法および評価項目については、医療意見書の在り方もふまえて今後の検討事項と考えられた。

また ICF における一般的なコーディングルールでは、明確な情報のみをコード化することとなっているが、今回は意図的に患児の置かれた状況を”推定し”、それに対してコーディングを実施した。推定された状況は医師の監修の元で評価されたが、通常のコーディング過程とは異なっていることに留意する必要がある。

E. 結論

「疾病の状態の程度」から「推察される要因」をふまえて ICF コードを紐づけることで、社会参加に影響しうる疾患横断的な要因を抽出することが可能であった。ただし抽出された要因は患児の健康状態に起因する内容にとどまり、患児を取り巻く重要な環境要因を抽出することは困難であった。今後は、現行の枠組みからは把握が難しい、患児を取り巻く人的・物理的・社会的な環境要因について評価軸を検討することが、患児の社会参加の全体像の把握、引いては小慢対策の目的の一つである「慢性疾患児の特性を踏まえた健全育成」への寄与につながると考えられた。

F. 参考文献

- 1) 世界保健機関 (WHO) : ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改定版— (障害者福祉研究会 編). 中央法規出版, 東京, 2002.
- 2) 盛一享徳、横谷進、大竹明、森臨太郎. 小児慢性特定疾病の状態の程度の検討—小児慢性特定疾病への国際生活分類の概念導入の試み—. 平成 30 年度厚生労働行政推進調査研究事業費 (難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業)) 「小児慢性特定疾病対策の推進に寄与する実践的基盤提供にむけた研究」 分担研究報告書.

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

特許情報/実用新案登録/その他
なし/なし/なし

表 1. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（悪性新生物）

状態の程度の記載		
A 組織と部位が明確に診断されている場合。治療終了後から5年を経過した場合は対象としないが、再発等が認められた場合は、再度対象とする。		
B 頭蓋内及び脊柱管内が原発であり、脳（脊髄）腫瘍であることを確認した場合。病理診断が困難である場合であっても対象とする。治療終了後から5年を経過した場合は対象としないが、再発等が認められた場合は、再度対象とする。		
ICF コード	コード名	推察される要因
b110-199	<i>Mental functions</i>	主に中枢神経系腫瘍
b210-229	<i>Seeing and related functions</i>	同上
b230-249	<i>Hearing and vestibular functions</i>	同上
b280	Sensation of pain	癌性疼痛
b410-429	<i>Functions of the cardiovascular system</i>	主にリンパ腫
b430-439	<i>Functions of the haematological and immunological systems</i>	主に白血病および治療の副作用
b440-449	<i>Functions of the respiratory system</i>	主にリンパ腫
b455	Exercise tolerance functions	腫瘍や治療の後遺症による易疲労性
b510-539	<i>Functions related to the digestive system</i>	症状および治療の後遺症としての消化器系機能の低下
b540-559	<i>Functions related to metabolism and the endocrine system</i>	症状および治療の後遺症としての代謝・内分泌機能の低下
b610-639	<i>Urinary functions</i>	主にウィルムス（Wilms）腫瘍／腎芽腫
b640-679	<i>Genital and reproductive functions</i>	症状および治療の後遺症としての性と生殖機能の低下
b710	Mobility of joint functions	主に骨肉腫
b810	Protective functions of the skin	主に悪性黒色腫
b850	Functions of hair	治療の副作用
s110-199	<i>Structures of nervous system</i>	主に中枢神経系腫瘍
s220	Structure of eyeball	同上
s230	Structures around eye	同上
s260	Structure of inner ear	同上
s420	Structure of immune system	主に白血病
s430	Structure of respiratory system	主に気管支腫瘍

s510-599	<i>Structures related to the digestive, metabolic and endocrine system</i>	症状や外科的治療等による構造変化
s610	Structure of urinary system	主にウィルムス（Wilms）腫瘍／腎芽腫
s630	Structure of reproductive system	症状や外科的治療等による構造変化
s710-799	<i>Structures related to movement</i>	同上
s810	Structures of areas of skin	同上
s840	Structure of hair	治療の副作用
d110-129	<i>Purposeful sensory experiences</i>	症状および治療の後遺症による機能障害
d210-299	<i>General tasks and demands</i>	症状および治療の後遺症による精神機能全般の低下、運動耐容能低下
d310-399	<i>Communication</i>	症状および後遺症、合併症による機能障害
d410-499	<i>Mobility</i>	機能障害、運動耐容能低下
d530	Toileting	症状および後遺症、合併症による排泄機能障害
d550	Eating	治療に伴う食思不振、味覚・粘膜障害、嚥下障害
d560	Drinking	治療に伴う食思不振、味覚・粘膜障害、嚥下障害
d570	looking after one's health	免疫力低下に伴う感染対策、継続的な内服や通院
d730-770	<i>Particular interpersonal relationships</i>	治療、入院加療に伴うコミュニティとの断絶 免疫抑制剤の内服に伴う感染対策 疾患特有の外見、特徴（副作用による脱毛など）
d810-839	<i>Education</i>	治療、入院加療に伴う通学困難 免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 運動耐容能低下含めた症状、晩期合併症による運動制限
d840-859	<i>Work and employment</i>	治療、入院加療に伴う通勤困難 免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 運動耐容能低下含めた症状、晩期合併症による運動制限 疾患特有の外見、特徴（副作用による脱毛など）
d920	Recreation and leisure	運動耐容能低下含めた症状、晩期合併症による運動制限 免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策

表 2. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（慢性腎疾患）

状態の程度の記載		
A 病理診断で診断が確定し、治療でステロイド薬、免疫抑制薬、生物学的製剤、抗凝固薬、抗血小板薬、アルブミン製剤若しくは降圧薬のうち一つ以上を用いる場合又は腎移植を行った場合		
B 病理診断で診断が確定し、治療でステロイド薬、免疫抑制薬、生物学的製剤、抗凝固薬、抗血小板薬、アルブミン製剤若しくは降圧薬のうち一つ以上を用いる場合。		
C 治療で薬物療法を行っている場合又は腎移植を行った場合		
D 次のいずれかに該当する場合 ア先天性ネフローゼ症候群の場合 イ半年間で3回以上再発した場合又は1年間に4回以上再発した場合 ウ治療で免疫抑制薬又は生物学的製剤を用いる場合 エステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の場合 オ腎移植を行った場合		
E 次のいずれかに該当する場合 ア半年間で3回以上再発した場合又は1年間に4回以上再発した場合 イ治療で免疫抑制薬又は生物学的製剤を用いる場合 ウ腎移植を行った場合		
F 腎機能低下がみられる場合又は腎移植を行った場合		
G 腎機能低下がみられる場合、泌尿器科的手術を行った場合又は腎移植を行った場合		
H 治療でステロイド薬、免疫抑制薬、生物学的製剤、抗凝固薬、血漿交換療法若しくは輸血のうち一つ以上を用いる場合又は腎移植を行った場合		
I 次のいずれかに該当する場合 ア先天性ネフローゼ症候群の場合 イ治療で薬物療法を行っている場合 ウ腎移植を行った場合		
J 蛋白尿がみられる場合、腎機能低下がみられる場合又は腎移植を行った場合		
K 次のいずれかに該当する場合 ア蛋白尿がみられる場合、腎機能低下がみられる場合又は腎移植を行った場合 イ運動障害、知的障害、意識障害、自閉傾向、行動障害（自称行為又は多動）、けいれん発作、皮膚初見（疾病に特徴的で、治療を要するものをいう。）、呼吸異常、体温調節異常、温痛覚低下、骨折又は脱臼のうち一つ以上の症状が続く場合		
ICF コード	コード名	推察される要因
b100 番台	Blood pressure functions	主にギャロウェイ・モワト症候群
b270	Sensory functions related to temperature and other stimuli	同上
b280	Sensation of pain	同上
b420	Blood pressure functions	状態の程度 A,B 「降圧薬のうち一つ以上」
b440-449	Functions of the respiratory system	主にギャロウェイ・モワト症候群
b455	Exercise tolerance functions	症状や後遺症に伴う易疲労性
b550	Thermoregulatory functions	主にギャロウェイ・モワト症候群
b610-639	Urinary functions	主にネフローゼ症候群、IgA 腎症、低形成腎など
b750-789	Movement functions	主にギャロウェイ・モワト症候群
s610	Structure of urinary system	主にネフローゼ症候群、IgA 腎症、低形成腎など
d130-159	Basic learning	主にギャロウェイ・モワト症候群

d160-179	<i>Applying knowledge</i>	同上
d200 番台	General tasks and demands	同上
d450-469	<i>Walking and moving</i>	運動耐容能低下
d570	looking after one's health	免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策、継続的な内服や通院
d730-770	<i>Particular interpersonal relationships</i>	治療、入院加療に伴うコミュニティとの断絶 免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 病状の他者から認識されづらさ
d810-839	<i>Education</i>	治療、入院加療に伴う通学困難 免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 運動耐容能低下含めた症状による運動制限
d840-859	<i>Work and employment</i>	治療、入院加療に伴う通勤困難 免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 運動耐容能低下含めた症状による運動制限 病状の他者から認識されづらさ
d920	Recreation and leisure	免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策
e580	Health services, systems and policies	身体障害者手帳、愛の手帳の取得

表 3. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」(慢性呼吸器疾患)

状態の程度の記載		
<p>A 治療が必要な場合</p> <p>B 次のいずれかに該当する場合。 ア 1年以内に3か月に3回以上の大発作があった場合 イ 1年以内に意識障害を伴う大発作があった場合 ウ 治療で人工呼吸管理又は挿管を行う場合 エ 生物学的製剤の投与を行った場合 オ おおむね1か月以上の長期入院療法を行う場合</p> <p>C 気管支炎や肺炎を繰り返す場合</p> <p>D 治療で呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）、酸素療法、気道拡張術・形成術後、中心静脈栄養又は経管栄養のうち一つ以上を行う場合（急性期のものを除く。）咽頭狭窄については、気管切開術、上顎下顎延長術を除く通常の手術（アデノイド切除術、扁桃摘出術、咽頭形成術等）により治癒する場合は対象としない。</p> <p>E 治療で呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）、酸素療法、中心静脈栄養又は横隔膜ペーシングのうち一つ以上を行う場合。</p> <p>F 治療で呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）、酸素療法又は中心静脈栄養のうち一つ以上を行う場合。</p> <p>G 左欄の疾病名に該当する場合。</p>		
ICF コード	コード名	推察される要因
b310-399	Voice and speech functions	主に気道狭窄、慢性肺疾患等
b440-449	Functions of the cardiovascular system	同上
b455	Exercise tolerance functions	同上
b510-539	Functions related to the digestive system	主に先天性横隔膜ヘルニア
S330	Structure of pharynx	呼吸管理に伴う構造変化を想定
S340	Structure of larynx	同上
S398	Structures involved in voice and speech, other specified	同上
S430	Structure of respiratory system	主に気道狭窄、慢性肺疾患等
d350-369	Conversation and use of communication devices and techniques	呼吸管理の影響
d410-499	Mobility	機能障害や易疲労性、医療的ケア
d570	looking after one's health	感染対策、継続的な内服や定期通院
d598	self-care, other specified	呼吸管理や中心静脈栄養などの医療的ケア
d730-770	Particular interpersonal relationships	治療、入院加療に伴うコミュニティとの断絶 運動耐容能低下含めた症状による運動制限 医療的ケアの必要性

d810-839	Education	<p>治療、入院加療に伴う通学困難</p> <p>医療的ケアの必要性</p> <p>運動耐容能低下含めた症状、医療的ケアに伴う運動・活動制限</p>
d840-859	Work and employment	<p>治療、入院加療に伴う通勤困難</p> <p>医療的ケアの必要性</p> <p>運動耐容能低下含めた症状、医療的ケアとの兼ね合いによる運動・活動制限</p>
d920	Recreation and leisure	<p>運動耐容能低下含めた症状による参加可能範囲への影響</p> <p>医療的ケアの必要性</p>
e580	Health services, systems and policies	<p>身体障害者手帳の取得</p>

表 4. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」(慢性心疾患)

状態の程度の記載		
<p>A 治療中である場合又は第2基準(※)を満たす場合</p> <p>B 第1基準(※)を満たす場合</p> <p>C 第1基準または第2基準を満たす場合</p> <p>D 第1基準、第2基準または第3基準(※)を満たす場合</p> <p>E 治療中である場合又は第2基準もしくは第3基準を満たす場合</p> <p>F 心室性期外収縮であって多源性である場合</p> <p>G 破裂の場合又は破裂が予測される場合</p> <p>H 一過性でない確実な冠動脈異常所見(拡張、瘤形成、巨大瘤又は狭窄)を確認し、継続的な治療が行われている場合</p> <p>I フォンタン型手術を行った場合</p> <p>J 左欄の疾病名に該当する場合</p> <p>K 次のいずれかに該当する場合 ア 上肢の運動障害があり継続的に治療を要する場合 イ 慢性心疾患の治療中である場合又は第2基準を満たす場合</p> <p>(※)「第1基準」、「第2基準」及び「第3基準」とは、それぞれ以下の基準をいう。</p> <p>第1基準 治療で強心薬、利尿薬、抗不整脈、抗血小板薬、抗凝固薬、末梢血管拡張薬、β遮断薬又は肺血管拡張薬のいずれかが投与されている場合であること。</p> <p>第2基準 次の①から⑨までのいずれかが認められていること。①肺高血圧症(収縮期血 40mmHg 以上)、②肺動脈狭窄症(右室-肺動脈圧較差 20mmHg 以上)、③2度以上の房室弁逆流、④2度以上の半月弁逆流、⑤圧較差 20mmHg 以上の大動脈狭窄、⑥心室性期外収縮、上室性頻拍、心室性頻拍、心房粗細動又は高度房室ブロック、⑦左室駆出率 0.6 以下、⑧心胸郭比 60% 以上、⑨圧較差 20mmHg 以上の大動脈再狭窄</p> <p>第3基準 最終手術不能のためチアノーゼがあり、死に至る可能性を減らすための濃厚なケア、治療及び経過観察が必要な場合であること</p>		
ICF コード	コード名	推察される要因
b410-429	<i>Functions of the cardiovascular system</i>	主にファロー四徴症、心室中隔欠損症 等
b450-499	<i>Additional functions and sensations of the cardiovascular and respiratory systems</i>	同上
b540	General metabolic functions	主にフォンタン術後等の晩期障害
b610	Urinary excretory functions	同上
s410	Structure of cardiovascular system	主にファロー四徴症、心室中隔欠損症 等
d430	Lifting and carrying objects	運動耐容能の低下や心機能に伴う運動制限
d450-469	<i>Walking and moving</i>	運動耐容能の低下や心機能に伴う運動制限

d510-560	<i>Self-cared</i>	(第3基準を満たす場合など)全身状態の低下
d570	looking after one's health	継続的な内服や通院
d598	self-care, other specified	(第3基準を満たす場合など)医療的ケア
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	治療、入院加療に伴うコミュニティとの断絶 病状の他者から認識されづらさ
d810-839	<i>Education</i>	治療、入院加療に伴う通学困難 運動耐容能の低下や心機能に伴う運動制限
d840-859	<i>Work and employment</i>	治療、入院加療に伴う通勤困難 運動耐容能の低下や心機能に伴う運動制限 病状の他者から認識されづらさ
d920	Recreation and leisure	運動耐容能の低下や心機能に伴う運動制限

表 5. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（内分泌疾患）

状態の程度の記載		
A 治療で補充療法、機能抑制療法その他の薬物療法を行っている場合。		
B 治療で補充療法、機能抑制療法その他の薬物療法を行っている場合。ただし、成長ホルモン療法を行う場合には、備考に定める基準を満たすものに限る。		
C 治療で補充療法を行っている場合。		
D 手術を実施し、かつ、術後も治療が必要な場合。		
E 治療で補充療法、機能抑制療法その他の薬物療法を行っている場合。ビタミン D の維持療法を行っている場合も対象とする。		
F 治療で補充療法、機能抑制療法その他の薬物療法又は胃瘻、持続経鼻栄養等の栄養療法のいずれか 1 つ以上を行っている場合。		
ICF コード	コード名	推察される要因
b540-559	<i>Functions related to metabolism and the endocrine system</i>	
b610	Urinary excretory functions	主に尿崩症
b640-679	<i>Genital and reproductive functions</i>	主に性分化疾患
s110	Structure of brain	
s580	Structure of endocrine glands	
s630	Structure of reproductive system	
d570	looking after one's health	特別な栄養管理（主に低血糖症）、継続的な内服や通院
d598	self-care, other specified	自己注射の管理
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	疾患特有の外見、特徴（低身長など） 病状の他者から認識されづらさ（性分化疾患など）
d810-839	<i>Education</i>	低身長などに伴う物理的な参加可能範囲の制限 プライバシーの保持（性分化疾患など）
d840-859	<i>Work and employment</i>	低身長などに伴う物理的な参加可能範囲の制限
d920	Recreation and leisure	低身長などに伴う物理的な参加可能範囲の制限

表 6. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（膠原病）

状態の程度の記載		
A 治療で非ステロイド系抗炎症薬、ステロイド薬、免疫調整薬、免疫抑制薬、抗凝固療法、 γ グロブリン製剤、強心利尿薬、理学作業療法、生物学的製剤又は血漿交換療法のうち一つ以上を用いている場合		
ICF コード	コード名	推察される要因
b110	Consciousness functions	主に全身性エリテマトーデス
b210	Seeing functions	主にベーチェット病
b230	Hearing functions	主に多発血管炎性肉芽腫症
b410-429	<i>Functions of the cardiovascular system</i>	主に高安動脈炎
b430-439	<i>Functions of the haematological and immunological systems</i>	
b510	Ingestion functions	主にシェーグレン症候群
d570	looking after one's health	継続的な内服や定期通院、感染対策
b610-639	<i>Urinary functions</i>	主に全身性エリテマトーデス
b710-799	<i>Neuromusculoskeletal and movement-related functions</i>	主に若年性特発性関節炎
b810-849	<i>Functions of the skin</i>	主に皮膚筋炎
s220	Structure of eyeball	主にベーチェット病
s230	Structures around eye	同上
s410-499	<i>Structures of cardiovascular, immunological and respiratory systems</i>	主に高安動脈炎
s510-599	<i>Structures related to the digestive metabolic and endocrine systems</i>	合併症（主にループス腸炎）
s610	Structure of urinary system	合併症（主にループス腎炎）
s710-799	<i>Structures related to movement</i>	主に若年性特発性関節炎
s810-899	<i>Skin and related structures</i>	主に皮膚筋炎
d410-499	<i>Mobility</i>	疾患による関節と骨の機能・構造障害
d570	looking after one's health	免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策、継続的な内服や通院
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 病状の他者から認識されづらさ
d810-839	<i>Education</i>	免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 関節症状などによる運動制限 症状の大幅な日差・日内差に伴う活動可能量の変動

d840-859	<i>Work and employment</i>	免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 関節症状などによる運動制限 症状の大幅な日差・日内差に伴う活動可能量の変動 病状の他者から認識されづらさ
d920	<i>Recreation and leisure</i>	免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 関節症状などによる運動制限 症状の日差・日内差、予定(見通し)の立てづらさ

表 7. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」(糖尿病)

状態の程度の記載		
A 治療でインスリンその他の糖尿病治療薬又は IGF-1 のうち 1 つ以上を用いている場合		
ICF コード	コード名	推察される要因
b210	Seeing functions	
b265	Touch functions	
b280	Sensation of pain	
b435	Immunological system functions	
b540	General metabolic functions	
b610	Urinary excretory functions	
s120	Spinal cord and related structures	
s140	Structures of sympathetic nervous system	
s150	Structures of parasympathetic nervous system	
s220	Structures of eyeball	
s420	Structures of immune system	
s550	Structures of pancreas	
s560	Structures of liver	
s610	Structure of urinary system	
s810-899	<i>Skin and related structures</i>	
d570	looking after one's health	栄養管理、継続的な内服や通院
d598	self-care, other specified	血糖コントロールに要する対応 (糖分補給、自己注射)
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	病状の他者から認識されづらさ インスリンの自己注射
d810-839	<i>Education</i>	血糖コントロールに要する対応 (糖分補給、自己注射)
d840-859	<i>Work and employment</i>	血糖コントロールに要する対応 (糖分補給、自己注射) 病状の他者から認識されづらさ
d920	Recreation and leisure	血糖コントロールに要する対応 (糖分補給、自己注射)

表 8. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」(先天性代謝異常)

状態の程度の記載		
A 左欄の疾病名に該当する場合		
ICF コード	コード名	推察される要因
b117	Intellectual functions	主にミトコンドリア突然変異、ムコ多糖症 等
b210	Seeing functions	合併症 (白内障、白子様症状)
b410-429	<i>Functions of the cardiovascular system</i>	合併症 (不整脈、心筋炎)
b440-449	<i>Functions of the respiratory system</i>	合併症 (呼吸障害)
b455	Exercise tolerance functions	
b540-559	<i>Functions related to metabolism and the endocrine system</i>	主にメチルマロン酸血症 等
b610	Urinary excretory functions	主にフェニルケトン尿症 等
b710-729	<i>Functions of the joints and bones</i>	
b730-749	<i>Muscle functions</i>	
s110	Structure of brain	主にミトコンドリア突然変異、ゴーシェ症 等
s220	Structure of eyeball	
s410	Structure of cardiovascular system	
s560	Structure of liver	
s610	Structure of urinary system	
s710-799	<i>Structures related to movement</i>	
d110-199	<i>Learning and applying knowledge</i>	精神発達遅滞を伴う場合
d210-299	<i>General tasks and demands</i>	精神発達遅滞や運動耐容能の低下
d310-399	<i>Communication</i>	精神発達遅滞や運動耐容能の低下
d410-499	<i>Mobility</i>	精神発達遅滞や運動耐容能の低下
d510-579	<i>Self-care</i>	精神発達遅滞や運動耐容能の低下
d570	looking after one's health	「代謝異常」に関連した特別な栄養管理、継続的な内服や通院
d598	self-care, other specified	成長ホルモンなどの自己注射
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	精神発達遅滞や神経学的退行 病状の他者から認識されづらさ
d810-839	<i>Education</i>	医療的ケア、精神発達遅滞 疾患特有の栄養管理
d840-859	<i>Work and employment</i>	医療的ケア、精神発達遅滞 病状の他者から認識されづらさ

d920	Recreation and leisure	医療的ケア 疾患特有の栄養管理
e580	Health services, systems and policies	愛の手帳の取得

表 9. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（血液疾患）

状態の程度の記載		
A 治療で補充療法、G-C-S-F療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合。		
B 検査で血中ヘモグロビン値 10g / dL 以下又は赤血球数 350 万 / μ L 以下の状態が持続する場合。		
C 治療で補充療法若しくは除鉄剤の投与を行っている場合又は造血幹細胞移植を実施する場合。		
D 治療で補充療法を行っている場合。		
E 血栓症の既往がある場合又は治療で抗凝固療法を行っている場合。		
F 左欄の疾病名に該当する場合。		
ICF コード	コード名	推察される要因
b410-429	<i>Functions of the cardiovascular system</i>	貧血症状の影響
b430-439	<i>Functions of the haematological and immunological systems</i>	
b440	<i>Respiration functions</i>	貧血症状の影響
b455	Exercise tolerance functions	同上
b610	Urinary excretory functions	状態の程度の記載「腹膜透析又は血液透析」から
b710-729	<i>Functions of the joints and bones</i>	主に血友病性関節症
s420	Structure of immune system	
s710-799	<i>Structures related to movement</i>	
d450-469	<i>Walking and moving</i>	関節症による制限
d570	looking after one's health	易出血性や凝固異常への注意、継続的な内服や通院
d598	self-care, other specified	自己注射を想定
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	治療、入院加療に伴うコミュニティとの断絶 外見ではわかりづらい疾病ゆえの理解の得づらさ
d810-839	<i>Education</i>	治療、入院加療に伴う通学困難 易出血性や凝固異常に伴う出血リスク、透析スケジュール
d840-859	<i>Work and employment</i>	治療、入院加療に伴う通勤困難 易出血性や凝固異常に伴う出血リスク、透析スケジュール 病状の他者から認識されづらさ
d920	Recreation and leisure	透析スケジュール 易出血性や凝固異常に伴う出血リスク
e580	Health services, systems and policies	身体障害者手帳の取得

表 10. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（免疫疾患）

状態の程度の記載		
A 治療で補充療法、G-C-S-F療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合。		
B 治療で補充療法、G-C-S-F療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、感染症予防療法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合。		
C 治療でG-C-S-F療法若しくは造血幹細胞移植を実施する場合又は検査で好中球数 1500 / μ L 以下の状態である場合。		
D 感染症の予防や治療で補充療法を実施する場合、抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬等の投与が必要になる場合又は入院加療を要する感染症にかかった場合。		
E 治療で補充療法が必要となる場合。		
F 左欄の疾病名に該当する場合。		
ICF コード	コード名	推察される要因
b410-429	<i>Functions of the cardiovascular system</i>	合併症（心筋炎）
b430-439	<i>Functions of the haematological and immunological systems</i>	
b440	Respiration functions	合併症（肺炎）
b455	Exercise tolerance functions	
b515	Digestive functions	合併症（粘膜潰瘍）
b525	Defecation functions	同上（腸炎）
b610	Urinary excretory functions	同上（尿路感染症）
b810-849	Functions of the skin	主に慢性肉芽腫症、合併症（湿疹）
s110	Structure of brain	合併症（髄膜炎）
s420	Structure of immune system	同上
d450-469	<i>Walking and moving</i>	運動耐容能の低下
d570	looking after one's health	感染対策の必要性、継続的な内服や通院
d598	self-care, other specified	透析 等
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	治療、入院加療に伴うコミュニティとの断絶 免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 病状の他者から認識されづらさ
d810-839	<i>Education</i>	治療、入院加療に伴う通学困難 免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 抗凝固療法に伴う出血リスク、透析スケジュール
d840-859	<i>Work and employment</i>	治療、入院加療に伴う通勤困難 免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 抗凝固療法に伴う出血リスク、透析スケジュール

d920	Recreation and leisure	免疫抑制剤等の内服に伴う感染対策 抗凝固療法に伴う出血リスク、透析スケジュール
e580	Health services, systems and policies	身体障害者手帳の取得

表 11. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」(神経・筋疾患)

状態の程度の記載		
<p>A 運動障害、知的障害、意識障害、自閉傾向、行動障害（自傷行為又は多動）、けいれん発作、皮膚所見（疾病に特徴的で、治療を要するものをいう。）呼吸異常、体温調節異常、温痛覚低下、骨折又は脱臼のうち一つ以上の症状が続く場合。</p> <p>B 運動障害が続く場合 又は治療として強心薬、利尿薬、抗不整脈薬、末梢血管拡張薬、β 遮断薬、肺血管拡張薬、呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）、酸素療法、中心静脈栄養若しくは経管栄養のうち一つ以上を継続的に行っている場合。</p> <p>C けいれん発作、自閉傾向、意識障害、行動障害（自傷行為又は多動）、知的障害、運動障害、排尿排便障害、皮膚所見（疾病に特徴的で、治療を要するものをいう。）、呼吸異常、体温調節異常、温痛覚低下、骨折又は脱臼のうち一つ以上の症状が続く場合。</p> <p>D けいれん発作、意識障害、運動障害、排尿排便障害又は温痛覚低下のうち一つ以上の症状が続く場合。</p> <p>E 治療で補充療法、機能抑制療法その他の薬物療法を行っている場合。</p> <p>F 運動障害、知的障害、意識障害、自閉傾向、行動障害（自傷行為又は多動）が続く場合又は治療として強心薬、利尿薬、抗不整脈薬、末梢血管拡張薬、β 遮断薬、肺血管拡張薬、呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）、酸素療法、中心静脈栄養若しくは経管栄養の一つ以上を継続的に行っている場合。</p> <p>G 眼筋症状、運動障害、知的障害、意識障害、自閉傾向、行動障害（自傷行為又は多動）、けいれん発作、皮膚所見（疾病に特徴的で、治療を要するものをいう。）、呼吸異常、体温調節異常、温痛覚低下、骨折又は脱臼のうち一つ以上の症状が続く場合。</p>		
ICF コード	コード名	推察される要因
b110-199	<i>Mental functions</i>	疾病の状態の程度「知的障害」「意識障害」等
b210	<i>Seeing functions</i>	疾病の状態の程度「眼筋症状」
b270	<i>Sensory functions related to temperature and other stimuli</i>	疾病の状態の程度「温痛覚低下」
b280	<i>Sensation of pain</i>	同上
b410-429	<i>Functions of the cardiovascular system</i>	主に筋ジストロフィー 等
b440-449	<i>Functions of the respiratory system</i>	同上
b510	<i>Ingestion functions</i>	疾病の状態の程度「中心静脈栄養若しくは経管栄養」
b525	<i>Defecation functions</i>	疾病の状態の程度「排尿排便障害」
b540	<i>General metabolic functions</i>	主にウェルナー症 等
b550	<i>Thermoregulatory functions</i>	疾病の状態の程度「体温調節異常」
b610-639	<i>Urinary functions</i>	疾病の状態の程度「排尿排便障害」
b710-729	<i>Functions of the joints and bones</i>	疾病の状態の程度「骨折又は脱臼」
b750-789	<i>Movement functions</i>	疾病の状態の程度「運動障害」
b810-849	<i>Functions of the skin</i>	疾病の状態の程度「皮膚初見」
s100 番台	<i>Structures of the nervous system</i>	主に脊髄髄膜腫、脳形成障害 等
s710-799	<i>Structures related to movement</i>	主に結節性硬化症 等

s810	Structures of areas of skin	同上
d130-159	<i>Basic learning</i>	知的・発達障害
d160-179	<i>Applying knowledge</i>	同上
d210-299	<i>General tasks and demands</i>	同上
d310-399	<i>Communication</i>	同上
d410-499	<i>Mobility</i>	「体温調節異常」「温痛覚低下」や「骨折または脱臼」に伴う運動制限
d510-599	<i>Self-care</i>	同上
d610-699	<i>Domestic life</i>	同上
d710-729	<i>General interpersonal interactions</i>	知的・発達障害、医療的ケア
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	同上
d810-839	<i>Education</i>	知的・発達障害、医療的ケア 「体温調節異常」「温痛覚低下」や「骨折または脱臼」に伴う運動制限 けいれん発作のリスク
d840-859	<i>Work and employment</i>	知的・発達障害、医療的ケア 「体温調節異常」「温痛覚低下」や「骨折または脱臼」に伴う運動制限 けいれん発作のリスク
d860-879	<i>Economic life</i>	知的・発達障害
d920	Recreation and leisure	知的・発達障害、医療的ケア 「体温調節異常」「温痛覚低下」や「骨折または脱臼」に伴う運動制限
e580	Health services, systems and policies	身体障害者手帳、愛の手帳の取得

表 12. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（慢性消化器疾患）

状態の程度の記載		
<p>A 発症時期が乳児期の場合。</p> <p>B 疾病による症状がある場合又は治療を要する場合。</p> <p>C 疾病による症状がある場合、治療を要する場合又は小腸移植を行った場合。</p> <p>D 疾病による症状がある場合、治療を要する場合又は肝移植を行った場合。</p> <p>E 疾病による症状がある場合、治療を要する場合又は肝移植若しくは小腸移植を行った場合。</p> <p>F 次のいずれかに該当し、かつ薬物療法を要する場合。ア特徴的嘔吐発作を過去に 5 回以上起こした場合 イ特徴的嘔吐発作を 6 か月間に 3 回以上起こした場合。</p> <p>G 血液浄化療法、免疫抑制療法又は肝移植を行った場合。</p> <p>H 体重増加不良、成長障害、易疲労性、反復する腹痛発作又は慢性的脂肪便のうち一つ以上の症状が認められる場合。</p> <p>I 疾病名に該当する場合。</p>		
ICF コード	コード名	推察される要因
b430	haematological system functions	疾病の状態の程度「血液浄化療法」
b455	Exercise tolerance functions	
b510-539	<i>Functions related to the digestive system</i>	
b540-559	<i>Functions related to metabolism and the endocrine system</i>	
b610	Urinary functions	主に総排泄腔異常症
b640-679	<i>Genital and reproductive functions</i>	同上
s540	Structure of intestine	
s550	Structure of pancreas	
s560	Structure of liver	
s570	Structure of gall bladder and ducts	
s610	Structure of urinary system	
s630	Structure of reproductive system	
d450-469	<i>Walking and moving</i>	運動耐容能の低下、心機能に伴う運動制限の影響を想定
d530	Toileting	
d570	looking after one's health	継続的な内服や通院、免疫抑制剤内服等に伴う感染対策
d598	self-care, other specified	IVH、ストマなど医療的ケア
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	治療、入院加療に伴うコミュニティとの断絶 医療的ケア、免疫抑制剤内服等に伴う感染対策 疾患特有の外見、特徴（総排泄腔遺残症 等）

d810-839	<i>Education</i>	治療、入院加療に伴う通勤困難 免疫抑制剤内服等に伴う感染対策 医療的ケア
d840-859	<i>Work and employment</i>	治療、入院加療に伴う通勤困難 免疫抑制剤内服等に伴う感染対策 医療的ケア
d920	Recreation and leisure	感染対策、医療的ケア
e580	Health services, systems and policies	身体障害者手帳の取得

表 13. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群）

状態の程度の記載		
<p>A 基準（ア）を満たす場合。</p> <p>B 基準（イ）を満たす場合又は大動脈瘤破裂の場合若しくは破裂が予想される場合。</p> <p>C 基準（ウ）を満たす場合。</p> <p>D 基準（ア）または（イ）を満たす場合。</p> <p>E 基準（ア）または（ウ）を満たす場合。</p> <p>F 基準（ウ）または（エ）を満たす場合。</p> <p>G 基準（ア）（イ）（ウ）を満たす場合。</p> <p>H 基準（ア）（イ）（ウ）を満たす場合又は排尿排便障害がみられる場合。</p> <p>I 基準（ア）（イ）（ウ）（エ）を満たす場合。</p> <p>※基準（ア）（イ）（ウ）（エ）とは、それぞれ以下に掲げる基準をいう。</p> <p>基準（ア） 症状として、けいれん発作、意識障害、体温調節異常、骨折又は脱臼のうち一つ以上続く場合であること。</p> <p>基準（イ） 治療で強心薬、利尿薬、抗不整脈薬、抗血小板薬、抗凝固薬、末梢血管拡張薬又は β 遮断薬のうち一つ以上が投与されている場合であること。</p> <p>基準（ウ） 治療で呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）、酸素療法又は胃管、胃瘻、中心静脈栄養等による栄養のうち一つ以上を行う場合であること。</p> <p>基準（エ） 腫瘍を合併し、組織と部位が明確に診断されている場合であること。ただし、治療から5年を経過した場合は対象としないが、再発などが認められた場合は、再度対象とする。</p>		
ICF コード	コード名	推察される要因
b110	Consciousness functions	基準（ア）「意識障害」
b310-399	Voice and speech functions	基準（ウ）「呼吸管理」
b410-429	Functions of the cardiovascular system	染色体異常に伴う心血管系疾患の合併
b430-439	Functions of the haematological and immunological systems	主に 13 トリソミー症候群 等
b440-449	Functions of the respiratory system	染色体異常に伴う呼吸器系疾患の合併
b455	Exercise tolerance functions	疾患に伴う易疲労性
b510-539	Functions related to the digestive system	染色体異常に伴う消化器系合併症
b550	Thermoregulatory functions	基準（ア）「体温調節障害」
b610	Urinary excretory functions	主に VATER 症候群
b710-729	Functions of the joints and bones	基準（ア）「骨折又は脱臼」
s110-199	Structure of the nervous system	

s410	Structure of cardiovascular system	染色体異常に伴う先天性心疾患の合併
s430	Structure of respiratory system	染色体異常に伴う呼吸器系疾患の合併
s510-599	<i>Structures related to the digestive,metabolic and endocrine system</i>	染色体異常に伴う消化器系合併症
s710-799	<i>Structures related to movement</i>	主にマルファン症候群
d130-159	<i>Basic learning</i>	精神発達遅滞、中枢神経症状
d160-179	<i>Applying learning</i>	同上
d210-299	<i>General tasks and demands</i>	同上
d310-399	<i>Communication</i>	精神発達遅滞、基準（ウ）「呼吸管理」
d410-499	<i>Mobility</i>	基準のうち「意識障害」「骨折・脱臼」「排尿排便障害」
d510-599	<i>Self-care</i>	同上
d610-699	<i>Domestic life</i>	同上
d710-729	<i>General interpersonal interactions</i>	精神発達遅滞、中枢神経症状
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	精神発達遅滞、中枢神経症状 疾病特有の外見や特徴
d810-839	<i>Education</i>	精神発達遅滞、中枢神経症状、医療的ケア 「体温調節異常」「温痛覚低下」や「骨折または脱臼」に伴う運動制限 「けいれん発作」のリスク
d840-859	<i>Work and employment</i>	精神発達遅滞、中枢神経症状、医療的ケア 「体温調節異常」「温痛覚低下」や「骨折または脱臼」に伴う運動制限 「けいれん発作」のリスク
d860-879	Economic life	精神発達遅滞、中枢神経症状
d920	Recreation and leisure	医療的ケア 「体温調節異常」「温痛覚低下」や「骨折または脱臼」に伴う運動制限 「けいれん発作」のリスク
e580	Health services, systems and policies	身体障害者手帳、愛の手帳の取得

表 14. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（皮膚疾患）

状態の程度の記載		
<p>A 次のいずれにも該当する場合 ア全身性白皮症又は眼皮膚白皮症であること。イ症候型眼皮膚白皮症（チェディアック・東症候群及びグリセリ症候群）でないこと</p> <p>B 感染の治療で抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬等の投与が必要となる場合。</p> <p>C 常に水疱びらんがあり、在宅処置として創傷被覆材（特定保険医療材料）を使用する必要のある場合。</p> <p>D 治療が必要な場合。ただし、軽症型又は一過性の場合を対象としない。</p> <p>E 顔面を含めた多数の神経線維腫症若しくは大きなびまん性神経線維腫のいずれかが存在する場合又は顔面を含めた麻痺や痛み等の神経症状若しくは高度の骨病変のいずれかが認められる場合。</p> <p>F 非特異性多発性小腸潰瘍症がみられる場合又は多汗症、皮膚肥厚、眼瞼下垂、関節症状若しくはリンパ浮腫のいずれかに対する治療が必要な場合。</p> <p>G 全身の 75%以上が無汗（低汗）である場合。</p> <p>H 左欄の疾病名に該当する場合。</p> <p>I 治療が必要な場合。</p> <p>J 次のいずれかに該当する場合 ア四肢又は頭部に変形があり継続的な治療を要する場合 イ運動障害、知的障害、意識障害、自閉傾向、行動障害（自傷行為又は多動）、けいれん発作、呼吸異常、体温調節異常、温痛覚低下のうち一つ以上の症状が続く場合</p>		
ICF コード	コード名	推察される要因
b117	Intellectual functions	主に眼皮膚白皮症、色素性乾皮症
b210-229	Seeing and related functions	主に眼皮膚白皮症、レックリングハウゼン病
b230	Hearing functions	主に色素性乾皮症
b280-289	Pain	主にレックリングハウゼン病、
b435	Immunological system functions	主に先天性魚鱗癬
b510	Ingestion functions	主に色素性乾皮症
b550	Thermoregulatory functions	主に無汗性外胚葉形成不全
b710-729	Functions of the joints and bones	主にレックリングハウゼン病、色素性乾皮症
b750-789	Movement functions	同上
b810-849	Functions of the skin	
b850-869	Functions of the hair and nails	主に無汗性外胚葉形成不全
s710-799	Structures of related to movement	主にレックリングハウゼン病、色素性乾皮症
s810-899	Skin and related structures	
d450-469	Walking and moving	主にレックリングハウゼン病、色素性乾皮症
d570	looking after one's health	紫外線対策、継続的な内服や通院
d598	Self-care, other specified	創傷、水疱、潰瘍部等の処置
d730-779	Particular interpersonal relationships	中枢神経症状 疾病特有の外見、特徴

d810-839	<i>Education</i>	皮膚症状、痛み、骨病変、紫外線対策、体温調節異常等に伴う活動制限
d840-859	<i>Work and employment</i>	皮膚症状、痛み、骨病変、紫外線対策、体温調節異常等に伴う活動制限 疾病特有の外見、特徴に伴う影響
d920	Recreation and leisure	皮膚症状、痛み、骨病変、紫外線対策、体温調節異常等に伴う活動制限
e580	Health services, systems and policies	身体障害者手帳、愛の手帳の取得

表 15. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（骨系統疾患）

状態の程度の記載		
A 次のいずれかに該当する場合 ア脊柱変形に対する治療が必要な場合 イ治療で呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）又は酸素療法を行う場合 ウ中心静脈栄養又は経管栄養を行う場合 エ脊髄障害による排尿排便障害がみられる場合		
B 次のいずれかに該当する場合 ア治療で補充療法、機能抑制療法、その他の薬物療法を行っている場合。ただし、成長ホルモン治療を行う場合には、第五表の備考に定める基準を満たすものに限る。 イ外科的治療を行う場合 ウ脊柱変形に対する治療が必要な場合 エ治療で呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）又は酸素療法を行う場合		
C 治療で補充療法、機能抑制療法その他の薬物療法又は外科的治療を行う場合。		
D 次のいずれかに該当する場合 ア骨折又は脱臼の症状が続く場合 イ重度の四肢変形、脊柱側弯又は脊髄麻痺のうち一つ以上の症状に対する治療が必要な場合 ウ治療で呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）又は酸素療法を行う場合		
E 次のいずれかに該当する場合 ア骨折又は脱臼の症状が続く場合 イ重度の四肢変形、脊柱側弯又は脊髄麻痺のうち一つ以上の症状に対する治療が必要な場合 ウ治療で呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）又は酸素療法を行う場合 エ血液凝固異常に対する治療を行う場合		
F 脳神経障害、骨髄炎若しくは骨折の症状が続く場合又は治療が必要な場合		
G 左欄の疾病名に該当する場合		
ICF コード	コード名	推察される要因
b110-139	<i>Global mental functions</i>	主に骨硬化性疾患
b210	<i>Seeing functions</i>	同上
b230	<i>Hearing functions</i>	主に軟骨無形成性症
b430	<i>Haematological system functions</i>	主に点状軟骨異形成症
b440-449	<i>Functions of the respiratory system</i>	主に胸郭不全症候群
b510-539	<i>Functions related to the digestive system</i>	同上
b610	<i>Urinary functions</i>	同上
b710-799	<i>Neuromusculoskeletal and movement-related functions</i>	
s100 番台	<i>Structures of the nervous system</i>	主に骨硬化性疾患
s710-799	<i>Structures related to movement</i>	主に骨形成不全症
d310-399	<i>Communication</i>	呼吸管理に伴う制限
d410-499	<i>Mobility</i>	
d510-599	<i>Self-care</i>	中枢神経障害、運動障害

d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	治療、入院加療に伴うコミュニティとの断絶 疾病特有の外見、特徴 医療的ケア
d810-839	<i>Education</i>	治療、入院加療に伴う通学困難 医療的ケア 骨変形、成長障害に伴う運動制限
d840-859	<i>Work and employment</i>	治療、入院加療に伴う通勤困難 医療的ケア 骨変形、成長障害に伴う運動制限
d920	Recreation and leisure	骨変形、成長障害に伴う運動制限 医療的ケア
e580	Health services, systems and policies	身体障害者手帳の取得

表 16. 「状態の程度の記載」への ICF コーディングおよびその「推察される要因」（脈管系疾患）

状態の程度の記載		
A 疾病による症状がある場合又は治療が必要な場合		
B 治療が必要な場合		
ICF コード	コード名	推察される要因
b410-429	<i>Functions of the cardiovascular system</i>	主にリンパ管腫、リンパ管腫症
b430	Haematological system functions	主にカサバツハ・メリット症候群
b435	Immunological system functions	同上
b510	Ingestion functions	同上
b710-799	<i>Neuromusculoskeletal and movement-related functions</i>	同上
b810-849	<i>Functions of the skin</i>	同上
s410	Structure of cardiovascular system	同上
s430	Structure of respiratory system	同上
s510-599	<i>Structure related to the digestive, metabolic and endocrine system</i>	同上
s710-799	<i>Structures related to movement</i>	同上
s810-899	<i>Skin and related structures</i>	同上
d450-469	<i>Walking and moving</i>	静脈瘤、奇形による動きにくさ、運動制限
d550	<i>Eating</i>	リンパ管腫による嚥下困難
d560	<i>Drinking</i>	同上
d570	looking after one's health	ぶつけないなどの注意、通院の継続
d598	self-care, other specified	医療的ケア（気管切開、リンパ漏の処置など）
d730-779	<i>Particular interpersonal relationships</i>	（静脈瘤や奇形など）疾病特有の外見、特徴
d810-839	<i>Education</i>	医療的ケア 動きにくさ、ぶつけない等の注意による運動制限
d840-859	<i>Work and employment</i>	医療的ケア 動きにくさ、ぶつけない等の注意による運動制限 （静脈瘤や奇形など）疾病特有の外見、特徴
d920	Recreation and leisure	動きにくさ、ぶつけない等の注意による運動制限 医療的ケア

